

別記  
第3号様式

京都府教育委員会教育長 様

コミュニティ名 算数・数学勉強会  
代表者所属名 綾部市立綾部小学校  
代表者職・氏名 教諭 細辻 浩介 ㊞

京都府若手教員学び合いのコミュニティ育成支援事業報告書

次のとおり報告します。

1 コミュニティ名	算数・数学勉強会
2 研究テーマ	21世紀型能力を見据えた未来の算数・数学教育を考える ～算数・数学における小・中・高の資質・能力をベースとした楽しい授業づくり～
3 研究の目的	1 算数・数学における小・中・高で求められる資質・能力を明確にすること。（学習指導要領の理解） 2 資質・能力をベースとした授業実践を追究することで、児童生徒の学力向上及び教員の授業力向上を図ること。（授業改善）
4 研究の成果と課題	1 成果 ア これまでの活動を基盤に、小・中の教職員で教材研究を行うことができた。 イ 教職員のネットワークを新たに構築することができた。 ウ 学習評価の実践・交流を通して、「パフォーマンス評価」について理解を深めることができた。 エ 算数科教育とプログラミング教育の関連について学ぶことができた。 2 課題 ア 新型コロナウイルス感染症の影響により、研究授業の参観に人数制限があった。（年度当初に計画していた小・中合同の研究授業は実施できなかった。） イ 毎年行っていた講師を招聘しての研究会が実施できなかった。

	<p>ウ 小・中・高をつなぐ算数・数学における資質・能力について十分整理できなかった。</p> <p>(次年度以降の課題)</p>		
5 研究成果の波及方法	<p>・所属メンバーがコミュニティ（部会）で学んだ内容を、各校における実践に生かすことによって、成果を波及させていく。</p>		
6 研究（活動）実績	年月	研究（活動）内容 (具体的に記載してください。)	活動場所
	2020年5月16日	<p>第1回 部会</p> <p>ア 研究概要の確認</p> <p>イ 学習指導要領の整理・理解</p> <p>ウ 全国学力・学習状況調査（小6・中3）、府立高等学校の入試問題から、小・中・高で求められている資質・能力についての協議</p> <p>エ 今後の活動計画</p>	綾部市立綾部小学校
	2020年8月1日	<p>第2回部会</p> <p>ア 児童に身に付けさせた力を明確にした単元構想</p> <p>イ 「数と計算」（小学校）、「数と式」（中学校）の領域における小・中のつながり</p>	中筋公民館（ふれあいセンター）
	2020年9月19日	<p>第3回部会</p> <p>ア 第5学年 算数科「平均とその利用」における教材研究（パフォーマンス評価など）</p> <p>イ プログラミング教育の</p>	中筋公民館（ふれあいセンター）

	実践（フローチャートの活用など）	
2020年11月19日	<p>第4回部会</p> <p>ア 第5学年 算数科「平均とその利用」公開授業</p> <p>イ 事後研究会（児童が書いた振り返りの分類を通して、学習評価の在り方を協議）</p>	綾部市立中筋小学校

※ 紙面が不足する場合は、適宜行を追加し記入してください。